

2012.4.1 発行 不老川流域川づくり市民の会 代表 相馬和彦
 連絡先 04-2965-1741 <http://furougawa.mods.jp/>



夫婦エノキの運命やいかに... 市境工事予定地 12年2月17日

不老川がランクアップ

不老川の水質は最低の E だったが、C に 2 ランク上がったと埼玉県が発表した(2月24日)。埼玉県、流域市町と市民も参加して、平成16年から行われていた「不老川清流ルネッサンス」事業が平成23年度で終了するが、その成果であると確信している。

流域のインフラが未整備のまま人口が増加したので、生き物の棲めない汚れた川になったが、下水道の普及や流域住民の努力によって、どうにか「川らしく」なってきたと言うべきであろう。

しかし、水質はよくなって魚も遡上するようになったが、下水環流水による水深の確保はできずに、多くの魚の死が確認されたことは問題である。

現在、24年度以降の計画をどうするか検討中で、今年の秋頃には発表される予定であるが、どのような計画が望まれるであろうか... 木々が繁る川沿いの道を散歩して、子供達が魚捕りで遊び、小鳥たちが舞う光景が浮かぶ。

(相馬)



牛尾菜

山野や林に生える多年草。山王塚ではツルをアズマネザサに絡ませてのびる。実は黒く大きくなり、種の赤色は鮮烈である。若芽はアスパラガスの味に似ておいしい。

不老川改修工事 夫婦エノキを守りたい！！

夫婦エノキと河畔林

川越市・狭山市境の不老川に沿って、右岸側に旧河川用地の河畔林、その対岸の法面に見事な夫婦エノキがある。

ここは平成16年に不老川下流部から始まった河川改修の中で、埼玉県と当会が何回も話し合いを持ち、実地検証をしながら残した樹林地である。



上流側から見た夫婦エノキと河畔林 2006.10

当初県から提示されたプランは林を切り開き、野外劇場のようなスペースをつくることであった。それに対して私達は“川は誰のもの？”と自問自答しながら会としてのプランを作り提案してきた。

川は私達の世代だけで消費していい資産ではない。先人から引き継ぎ、将来世代に渡さなければいけない大切な自然である。川にとって良いことをしなければ・・・

河畔樹の水面に映る木陰は、川をさかのぼる魚たちにとって夏の日差しを避ける休憩所になり、落ちる木の葉は植物プランクトンとなって生命の循環の一部となる。また周辺を含めた美しい景観の保全は、地域の歴史を伝え、価値を高め、見る人に喜びをもたらす。こうして河畔林と夫婦エノキは残った。

現在旧河川用地の河畔林は、当会の川越市会員がボランティアで維持管理を引き受けている。

あらたな改修計画

昨年末夫婦エノキから上流800mの改修工事が始まると県から連絡を受けた。さしあたり今年度中（～3月末）に基本設計を終わらせることである。

ここに再度夫婦エノキ保全の問題が出て来た。実は前回の改修でエノキが残ったというものの

それは工事をエノキの直前でストップしたにすぎず、今回その延長で工事を始めると、エノキに突き当たってしまう。私達はエノキを守るために、再度プラン作りに乗り出すことにした。

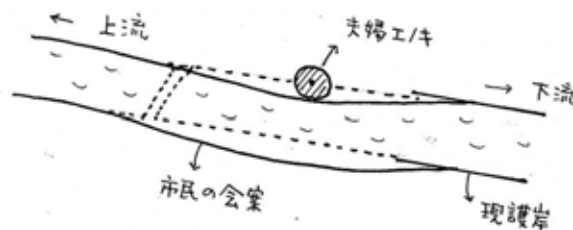
幸い県も当会との合意作りに積極的に対応し、まず始めに、合同で現地確認をしようということになった。

エノキの意味の再確認

エノキは江戸時代に一里塚樹として植えられて全国的に広まり、木陰で旅人が休息を取れるように配慮されていた。

川越の砂久保橋畔にも大エノキがあるが、夫婦エノキはそのほぼ一里上流にある。この木が江戸時代に植えられたものかどうかはともかく、近隣の畑で農作業をしていた人たちや、この木を地域の目印にして歩く人たちにとって、親しまれていたに違いない。

いわば人と川とをつなぐシンボリック的存在である。



保全のための河道シフト案

私達のマスタープラン

夫婦エノキの上流に架かる石橋の傍に、昔は柿渋を取って使ったというマメガキがある。いまはほとんど見かけることがないそうだ。そして橋脚近くには八ヶ下掘りの湧水が滔々と流れ落ちている。

この辺一帯も改修工事の区画に入るので、湧水を生かした魚の溜まり場が出来ないか、川を歩く人が一休みする場所にならないかとみんなで考えている。

夫婦エノキから石橋周辺をつなげて、この地域を象徴するような風景が出来ないものだろうか。

改修工事は始まったばかりである。（丸橋）

「ルネッサンス」を検証しよう

23年度終了に当たって

ルネッサンスは不老川の「あるべき姿」を設定し、それに向けて水質等の目標値を決め、行政と市民が一体となって進めてきた事業ですが、23年度で終了です。

1、水質 目標値 BOD8以下(D類型)

不老橋(国道256線)地点

水質汚濁原因の84%は生活雑排水で、流域に住む私達が水質を悪化させていますが、私達が使った水はどのようにして川に流しているのでしょうか。

イ、汲み取り トイレは汲み取りですが、台所等は川に流す。

ロ、単独浄化 トイレは浄化するが、台所等は川に流す。

ハ、合併浄化 トイレも台所等も自分で浄化してから川に流す。

二、下水道 トイレも台所等も下水道で集

めて浄化してから川に流す。

従って、イ、ロを少なくすれば川水はきれいになります

結果は表1のとおりで、イ+ロの人数の減少と共に、水質が良くなっている事が分かります。流域人口は210,208人で、内ハ+ニは198,700人(94.5%)ですが、表中11,508人の内約5,000人が下水道設置地区なのに、繋いでいない人達(水洗化率は計画では100%ですが、97%で未達成)なので、繋ぐことが肝心です。

又、川水を直接きれいにする為の浄化施設が4箇所ありますが、1箇所(不老川浄化施設)は平成13年から休止し、他の3箇所も東日本大震災後は節電で休止中ですが、それによる水質悪化は認められていません。

更に、希釈による水質向上を図った還流水の放流は、平成18年から放流水の水質が向上し(BOD3程度)、効果を発揮出来るようになった

のですが、水質が良くなったので希釈する必要がなくなっています。

以上水質は計画を達成し、E類型だったのが更に上のC類型(BOD5)になりましたが、浄化施設や還流水の運用が今後の検討課題です。

水深や生き物等については次号に掲載します。(相馬)

注：BOD単位は75%値 mg/l

表1 イ+ロの人数と水質推移 (数値は人数とmg/l)

人数		13年	18年	21年	計画
	瑞穂町		1,083	686	742
入間市		10,727	7,198	5,871	2,150
所沢市		7,007	3,804	1,099	516
狭山市		23,640	19,711	3,675	10,169
川越市		8,381	4,748	221	2,254
計		50,838	36,147	11,608	15,089
水質	BOD75%値	12	7.2	4.6	8

木漏れ日の元で

椎茸を育てる



3月20日、今年も山王塚市民緑地で「椎茸の駒うち体験教室」を開催しました。山王小学校の親子20名あまりと校長先生、教頭先生が参加して下さいました。珍しく風もなく暖かな日和のもと、冬景色の明るい森に、コナラに穴を開けるドリルの音、椎茸菌の駒を打ち込む音、子どもの声が響きます。

それにしても今年の春の訪れの遅いこと。やっとアオイスミレが咲き始めたところです。春一番に花をつけるウグイスカグラはまだ蕾のままです。準備の合間に森を散策するたのしみは薄れましたが、代わりに、4年前

に駒うちした原木に椎茸がニョキニョキと顔を出して、それを見ることができました。椎茸菌の駒うちをする楽しみが増してきたようです。

今年は、希望者には森の中で栽培できるように企画したところ、応募者が何人かありました。原木に印になるものをつけて、シラカシの木漏れ日の元に置きました。

1年半後にはたくさんの椎茸の顔が見られるように、森が育ててくれることを期待しています。(村手)



23年度 市民の会活動報告

大雨で崩れた西武線鉄橋下と「としとらず公園」の護岸修復工事について、現場で川越県土課長から説明を受けた。ルネ、環流水についても行政と話し合う機会が増え、行政と市民との合意による不老川のいい川づくりの実現の兆しがみえる。

川歩きクラブは、キツネノカミソリの保全のための試みとして、護岸の草刈をした。山王塚の管理は「山王塚の森を守る会」が引き継いだ。

- 所沢の東川地下河川見学 4月
- 不老川下流部見学 5月
新河岸川合流点まで
- 水質調査 6月
- 川歩きクラブ 月 回 観察、手入れなど
キツネノカミソリ付近の草刈
- としとらず公園で魚類調査 7月 10月
- 第11回大森の池まつり 8月
- 県土整備事務所との話し合い
8月、10月、1月、2月、3月
- マスタープラン作成作業 月2回
- 会報「川のささやき」 年4回発行
- ホームページの運営
- 川越 きらりボードの活用
河畔林の管理
- 不老川入曽地区の水彩画展 2月

おさそい



不老川

いい川づくり学習会

川越狭山市境の河川工事区間（夫婦エノキ付近）を見学したあと

入曽公民館で話し合います。

講師 吉村伸一先生（流域計画室代表）
多自然川づくりの第1人者

4月23日（月）

入曽公民館 13:00集合

問合せ 丸橋（2959-3831）

{ 流域情報 }

狭山丘陵と不老川上、中流域の湧水や地下水の挙動について、所沢源流の会が、トトロふるさと基金自然環境調査報告書第9集（H24.3）に調査結果を投稿。（H24.4以降の同基金HPにアップされる予定）（小黒）

2月19日 山王塚で小鳥の巣箱作り

山王小学校の工作室で、小学校の親子が巣箱を作り、10個ほど山王塚の森の木に取り付けました。シジュウカラがこの巣箱で子育てをしてくれるといいですね。（村手）

3月3日 「日本のいい川シンポジウム&講習会」（多自然川づくり技術普及会）

各地でいい川づくりに取り組んでいる人たちが集まりました。進士五十八氏（東京農大前学長）の「河川工事は『将来原風景になり得るか』を思っている事が大切」との話は印象的でした。（相馬）

川づくりに参加しませんか

定例会：毎月第3土曜日13:30～

年会費：1000円 詳細は下記世話人まで

人間市 相馬 04-2965-1741

狭山市 丸橋 04-2959-3831

所沢市 小黒 04-2923-8946

川越市 高木 0492-43-9828

編集後記 転居のため編集を降りることになりました。

ささやかな会報ですが苦あり楽あり。プレやおつれに迷いつつなんとかやって来ました。もどかしさも感じられたことかと思ます...ともあれ10年間続けてこられたこと感謝いたします。

今後、力強いメンバーに引き継がれます。装い新たになることでしょう。

春 新しい出発に オーレ！（H.T.）